

機械作業のケガを防ごう！

機械を扱う作業で重要なのは、自分の身を守るためのルールを徹底し、曖昧なまま作業しないことです。今回は、その重要なことを意識するためのポイントを紹介します。

●機械作業のケガを防ぐポイント

1.作業着・保護具を正しく着用する

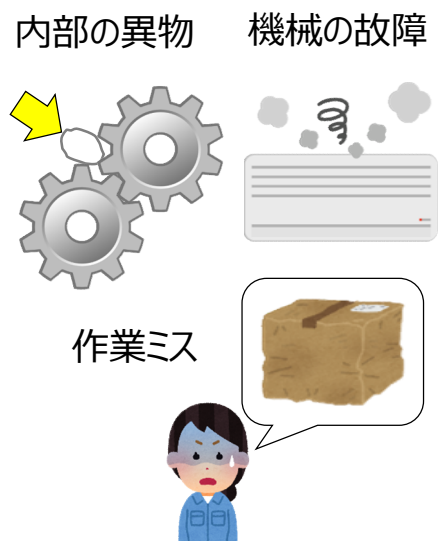
- ▶袖口は一番上までしっかりと留めましょう
- ▶上着の下にシャツを出さないようにしましょう
袖口が開いていたり上着の下にシャツがはみ出ていると、機械の回転部分に巻き込まれるおそれがあります。
- ▶手袋の着用ルールを確認し厳守しましょう
ボール盤など一部の機械では、軍手を使うと繊維が機械に絡みつき、巻き込まれる可能性があるため、使用を禁止されています。
- ▶作業着・保護具は定期的に交換しましょう
作業着や手袋を使い続けて劣化し、ほつれや破れが生じるとそこから機械の巻き込まれにつながるおそれがあります。



2.動いている機械に手を入れない

- ▶トラブル時は作業を止めて現場担当者呼びましょう
トラブルが生じた際にあわてて対処しようとして、
「作業に慣れたから大丈夫」と過信して機械に手を入れた結果、実際にケガをしたケースは非常に多く発生しています。
- ▶手を入れる際は必ず事前に電源を切りましょう
例えば清掃時に手を入れる必要がある場合、電源を入れたまま機械に手を入れると、はさまれ・巻き込まれの原因になります。
- ▶体調管理に気を配り疲労を解消しましょう
疲労がたまり判断力が低下すると、操作ミスなどの手順間違いを起こしやすく、ケガにつながるおそれがあります。

▼トラブルの例▼



ルール・手順に不明点があるときは必ず現場担当者へ確認しましょう！

★今月の安全衛生川柳 ～ 作業に慣れてくると、気の緩みから確認を怠りやすくなるので気をつけましょう！

慣れてきた そんなときこそ 確認を (神戸支店 スタッフさんの作品)